

8月17日(日)

無着色

辛子明太子

店頭で量り売り

お好きな量を
言って下さい!!

1g 2円 (税込)

 **西田鮮魚店** ☎72-5246

御用聞き便専用番号 ☎090-7125-5489 (旧庄原市内はご自宅に配達)
御用聞き便ポイントカード 火・水曜日ポイント2倍

今日は、奥原です。今年の目標「嫁と旅行へ行く」第三回行つて参りました!

今回は、岡山県牛窓町。日本のエーゲ海とも言われる景観の土地だそうで、実際に到着すると、メチャクチャ綺麗で、大自然の中お洒落なカフェに行つてみると、普段したことのない行動に嫁さんも動揺しておりました(汗)。旅行の力はすごいですね。ついでに、ホテルの海を見ながらできる贅沢エステを予約してあげるなど、だいぶ嫁さん孝行ができた、勝手に自負しております笑。最近では、今度は何処に行くの?と嫁さん始め、お客様からも聞かれる日があり、楽しみにしてくださる有り難い事で、旅がどうだったかは店頭にてまた、お気軽にお聞きください。次の四回目もしっかり広告にて報告致しますので、お楽しみに!

さて、皆さんご覧の通り今回の広告は、「無着色辛子明太子」となっております。なんとお値段1g2円!!従業員の間でもビックリな値段じゃないですか!お好きな量だけお買い得に買える、物価高で、ガソリンや米すらも高いの時に流石の店長の仕入れ!ご飯のおかずには勿論トーストに乗せて焼いたり、高菜に混ぜて、高菜明太にするのも美味しいですよ。私は、本日夕飯に豆腐の上に乗せて杯やろうと思ひます(笑)。皆さんも美味しい食べ方知つてるよって方いらっしゃいましたら是非教えて下さいね!

本日も皆様のお越し元氣にお待ちしております。

西田鮮魚店 主任 奥原 歩久斗

視力

鮮コーポレーション(株) 代表取締役会長 西田 昌史



I 見えん

この半年でめっきり視力が落ちた。あれほどハッキリ見えていたスマホの文字さえ読みにくい。60才の時、白内障の手術を受けた。あれから今日までメガネは不要になった。それが…。

II 近眼

高1で近視のメガネをかけ始めた。父も母も3人の姉弟も誰一人近眼はいなかった。あのころ、家でただ一人メガネをかけた私は、なんだろう、ちよつとばかし誇らしかった。振り返ってみるに、インテリという言葉が頭をよぎり、そのせいのような気がする。私の中でメガネ⇨インテリだった。だから、けっして嫌ではなかった。インテリに見えて。少しづつ度が進み0・02とか0・03とかになっていった。当然、レンズの厚みも増す。とはいえ、漫画に出てくるような牛乳瓶の底とまではいかず気にはならなかった。

III メガネとファッショ

10代、20代のころは、メガネにこだわることもなく、どこにでもあるような野暮ったいメガネをかけていた。メガネは、よく見えればそれでよかった。結婚してから私の身なりに変化が起きた。オシャレな悦子が、私のファッションの指導を始めた。独身時代、私はほぼ服を買ったことはない。母が買ってくるものを文句も言わずに着ていた。

ただ、困ったのは、そのほとんどがTシャツだったことだ。母には悪いが、とうていオシャレとは言えなかった。だから、よく、こちらはアパレルの会社に就職したかったほど服に興味のあった末の弟の篤生(とくお)の服を借用していた。ただ、篤生は心もち私より小さい。私は184センチあるが彼は178センチだ。少し小さい。

今でも覚えている。広島にあのハードロックの『レッドツエペリン』が来た。友人に誘われた。しかし、あのころの私に、ロックのコンサートに着ていくような服などありはない。篤生に借りた。当時流行のサイケ調のパンタロン。でもやっぱり、少し丈(はか)が足りない。それはわかった。わかったけど、我慢した。まあ、これくらいは…。

今ならぜったいしない。一センチにもこだわるそんな私が、結婚して、母が買うTシャツから一変、当時全盛のDCブランドに身を固めるようになった。友人が三次で『ロートレアモン』というブランドの店をやっていたこともあり。悦子に連れられ通った。

今では、その悦子の手も離れ、洋服は一人で買いにいくほどに成長した。

そのころからメガネも変わった。フォーナインズ(9999)というメーカーがあるが、ここのメガネを愛用した。おしゃれだ。変われば変わるものだ。

IV 老眼

40代になってからメガネをしていると、手元が見えなくなり始めた。メガネを外せばくっきり見える。老眼だ。それでも、あまり不自由だと思ったことはなかった。新聞を読んだり、本を読むときは外せばいいのだから。困ったのは食事。家で食べるときはいいのだが、仕事柄、懷石料理や何やら、その料理をしげしげと見なくてはならないことが多い。いちいち、メガネをずらさなければいけない。面倒くさい。が、それも仕方ない、我慢すればすむことだと思っていた。

V 白内障

ところが、60才前になって愕然(がくぜん)とした。高速度道路の標識の文字が見えにくい。標識が汚れているからだと思った。道路標識くらいきれいにしとけよ、とぶつぶつ言っていた。しかし、どうもおかしい。全部の道路標識が見えにくい。これは自分に原因があるようだ。

それには、人と話するとき、相手が窓側にいたりすると顔が真っ黒に見える。時としてまぶしい。

眼科の薬局を経営している友人に電話して聞いた。「白内障だろう、医者に紹介してやる。手術は簡単だから来い」と言う。そうはいつでも眼のことだ。手術と聞くだけで恐い。しばらく放っておいたが、やっぱり不便だ。意を決して手術を受けた。なんのことはなかった。片目ずつ日をおいてやつたが10分くらいですんだ。

そして驚いた。見える。遠くも近くも。くっきりはつきり。高1から45年お世話になったメガネがいらなくなった。メガネがいらないことがこんなに快適とは。

VI 平たい顔族

しかし、メガネはファッションだと気づかされた。

メガネをかけなくなつて一か月もしたころ同級生に会った。なんでも包み隠さずはつきりと口にする彼は言った。

「どうしたんなら。そがぁに、のっぺりした顔をして」

そして高らかに笑った。人の顔を見て。

言われてみれば、確かにそうだ。

なんか違う。なんか顔が…。

そう、顔にメリハリがない。

そして、頭に浮かんだ。

ローマ人が現代の日本の風呂屋にタイムスリップしてカルチャーショックを覚えるという漫画をベースにした『テルマエロマエ』という映画。

阿部寛(あべひろし)演ずるローマ人が、風呂屋で初めて目にした、湯につかる日本人を見て、『平たい顔族』と呼ぶ。あの場面に出てくるおじさんが私と重なった。がっくりきた。

「そうか、今まではメガネがアクセントになつとったんじゃ」といって、メガネをかけない心地よさには勝てない。伊達メガネに走らず、『平たい顔』で通して13年たつ。

VII 後発白内障？

思いもしなかった。このまま、くっきりはつきりの人生だと思っていたのに。そうもいかないらしい。症状が白内障と同じようだ。でもネットで見ると、白内障は再発することはないらしい。だが白内障ではないが『後発白内障』ということもあるという。この場合、レーザーで濁りを飛ばせば、見えるようになるのだとか。1〜2分ですむとも書いてあった。

VIII 本を読みたい

生れてこのかた、ずっと本を読むのが好きだった。「本なくしてなんの人生ぞ」というくらいに好きだった。ところが、今年は一冊も読んでない。読みかけてもすぐに止めてしまう。年をとって根気がなくなったのだと思っていた。ちがうみたいだ。字が見えないからだ。

ぐずぐず思い悩んだりんで、さっさと医者さんに診てもらおう。悪いくせじゃ。一人で、ああだこうだと考え込むのは。